

【令和3年度 学校関係者評価委員】

委員	氏名	所属	役職
委員長	鎌田 佳奈美	摂南大学看護学部	学部長
委員	木下 昌美	特別養護老人ホーム ファヴォーレ	施設長
委員	松村 到	近畿大学医学部	学部長
委員	笠井 千秋	近畿大学病院 看護部	看護部長
委員	上野 純子	近畿大学附属看護専門学校同窓会 礎	会長
委員	橋本 克己	株式会社近大アシスト	代表取締役社長

1.評価の概要と今後の課題

基準1. 教育理念・目的・育成人材像
<p>【評価の概要】</p> <p>教育理念・目的・目標は教育要項や実習要項に明文化されており、入学時や実習前など、看護学生として学習のステップが上がるタイミングで説明がなされている。また、HPや募集案内にも理念・目的・目標は掲載、入学時の保護者会でも説明し、学生以外にも様々な形で当校の理念等は広く周知してもらえるような取り組みはできている。最終的な学生のあるべき姿としてのディプロマポリシーは設定できたが、各学年ごとのマイルストーンの検討が望まれる。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマポリシー達成に向けてのマイルストーンの作成 ・当校の特色として臨床判断能力の育成にむけてシミュレーション教育の強化
基準2. 学校運営
<p>【評価の概要】</p> <p>年間（単年）のアクションプランを提示し、関与する委員会が達成できるよう活動案を提示している。しかし、中・長期的な目標については、毎年メンバーが変わることもあり立案に至らない委員会もある。その委員会については、ようやく規約がまとまり、承認を受けている段階である。</p> <p>情報システム化については、インフォクリッパーを利用し、教員間での連絡事項はスムーズにできつつある。学生に対しても、連絡・お知らせ、出欠状況はインフォクリッパーを活用。学生にも学習成果が可視化することが重要とされているため、情報システムを活用し取り組むことが望ましい。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランを踏まえた年間計画および中期計画の策定 ・情報システムを活用した学習成果の可視化
基準3. 教育活動
<p>【評価の概要】</p> <p>教育目標に対しての学生の自己評価は学年毎に行い、集計・分析をされているが、マイルストーンを設定し、何が達成できたのかを明確にしておく必要がある。各科目目標は設定しているが、ディプロマポリシーとのつながり、評価については教員間で共有すべきところである。そのためにもカリキュラムツリーは必要である。</p> <p>成績評価は講師により差がある。文科省が提示している「再試験対象者を3割程度まで」などの情報共有も必要である。</p> <p>教育の工夫としてはシミュレータの導入予定があるため、活用できる授業内容の構築を目指してほしい。</p> <p>教育体制の整備に関する評価が2年前より下がっている。原因の究明が望まれる。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムツリーの作成とともに科目目標とディプロマポリシーとの関連性の明確化 ・シミュレーション教育の充実のための教育力向上

<p>基準4. 学修成果</p> <p>【評価の概要】</p> <p>国家試験の合格は98.7%、就職率は100%とほぼ目標に近い数字となっている。進学率についても例年と変わらず5%前後で推移している。</p> <p>卒業生の社会的評価に関しては、5年後の卒業生にアンケート調査を実施したが、20%程度の回収率であった。その20%の卒業生は全員、臨床での業務に従事していたが、残りの80%の卒業生の動向が見えず、評価しづらい状況である。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就職先からの評価を元にした教育成果の把握 ・卒業生の動向把握の方法についての検討
<p>基準5. 学生支援</p> <p>【評価の概要】</p> <p>就職支援については、1年次より接遇や面接の受け方などから始め、2年次には、病院選択の考え方やエントリーシート、履歴書の書き方などを就職専門業者から説明が受けられるようカリキュラムに設定。具体的な就職活動に向けては学年担当により個別面接で希望進路を確認し、相談を受けている。今年度、近畿大学病院側から、エントリーシートや小論文の記載、面接の状況から表現力の弱さなどがみられたとの指摘もあり、更なる強化、支援が必要。</p> <p>中途退学者は2021年度は全校生徒の約2%であり、近年、同じくらいの割合となっている。学生相談利用についても例年と変わらない利用状況であった。</p> <p>近畿大学病院の修学支援が2年次からになっていること、令和5年には学生寮閉鎖予定などの事項への学生支援も考えていくことが望まれる。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし支援にむけての検討 ・進路指導・就職困難学生への個別対応体制の強化
<p>基準6. 教育環境</p> <p>【評価の概要】</p> <p>教育環境については、2021年度は新型コロナウイルス感染症対策が中心となった。教室の環境や感染対策に関する備品の設置も含めて、Wi-Fi環境を全講義室に整えたことで、ソーシャルディスタンスを保ちながら、学内で受講やグループワークができる環境を整えた。</p> <p>学生個々の理由でワクチン接種を望まない学生に、特別な対応は行っていないが、近畿大学本部、医学部が行っている定期的なPCR検査や抗原検査が望ましいと考える。</p> <p>ただ、コロナ禍の収束後に向けては、学生サービスとして休憩・食事場所などスペースの確保が望まれる。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン未接種者への抗原検査体制の検討 ・学校敷地内に休憩・食事のためのスペース設置を検討
<p>基準7. 学生の募集と受入れ</p> <p>【評価の概要】</p> <p>2020・2021年度はオンラインによるオープンキャンパスを実施。受験対策講座もオンラインで2回実施した。進学相談会参加や高校への要項配付などは例年通り実施。YouTube配信などSNSを活用しており、高校生には効果的な広報活動であると評価できるが、現状としては受験者が約50%減という結果であった。原因追及とともに新たな発信方法や試験方法などの検討が必要である。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試制度の検討（指定校の設定やAO入試導入など） ・コロナ禍におけるオープンキャンパスの実施 ・当校（専門学校）の魅力発信

<p>基準8. 財務</p> <p>【評価の概要】</p> <p>財務基盤を安定させるために中長期計画を策定している。</p> <p>学園の経理規程に則り適切に予算執行のうえ、財務帳票を作成し、ホームページに財務情報を公開している。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願者数を上げ収入を増加する必要がある。
<p>基準9. 法令等の遵守</p> <p>【評価の概要】</p> <p>看護師養成所運営ガイドラインに則り、教員数の確保、環境整備を努めており、学校の教育・運営に関する情報は教育要項ならびにホームページに公開されている。権利擁護は近畿大学ハラスメント防止ガイドラインに基づき、学生への周知ならびに対応が図られている。</p> <p>個人情報保護に関しては教職員が扱う情報はID・パスワードでの管理、学生には教育要項に掲載するとともに、オリエンテーションやガイダンス、授業等で指導している。また臨地実習においては誓約書の記載を行っている。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント対応チャートの作成 ・ハラスメントや個人情報保護に関する啓発活動の強化
<p>基準10. 社会貢献・地域貢献</p> <p>【評価の概要】</p> <p>行政や高校など要請があれば対応しているが、学校としてのボランティア活動や社会貢献活動は地域清掃程度。法人内では教室や教材の貸し出し、教員の派遣などを実施しているが、地域にまで広がっていない。</p> <p>コロナ禍における社会貢献を模索する必要がある。またボランティアに関しても学生の参加歴の確認とともに今後の取り組みについても模索していく。</p>
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の主体的なボランティア活動に向けての制度検討（表彰制度、ポートフォリオでの可視化など）。 ・地域連携に関する検討

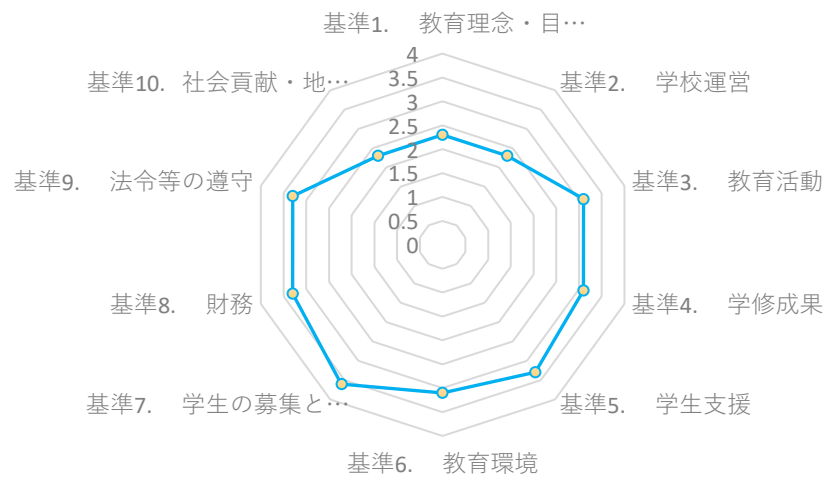
2. 評価結果

評価は次のとおり 数値化した。

適切：4 大体適切：3 やや不適切：2 不適切：1

項目	学校評価平均値	自己評価平均値
基準1. 教育理念・目的・育成人材像	2.3	3.3
基準2. 学校運営	2.3	2.9
基準3. 教育活動	3.1	3.2
基準4. 学修成果	3.1	3.0
基準5. 学生支援	3.3	3.1
基準6. 教育環境	3.1	3.0
基準7. 学生の募集と受入れ	3.6	3.3
基準8. 財務	3.3	3.7
基準9. 法令等の遵守	3.3	3.0
基準10. 社会貢献・地位貢献	2.3	1.4

学校評価



自己評価

